

令和4年度(2022年度)

京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士(後期)課程入学試験問題 語学(実技系・英語)

1. 次の文章を日本語に訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

出典: Susan McClary, *Conventional Wisdom: The Content of Musical Form*, Berkeley, California: University of California Press, 2009, p.63. (一部改変)

2. 次の文章内の下線部について、著者がこのように書いた理由を、文中で使われている例を用いながら日本語で説明しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

出典 : Mark Katz, *Capturing Sound: How Technology Has Changed Music*, Berkeley, California: University of California Press, 2010, p. 53-54.

令和4年度(2022年度)

京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士(後期)課程入学試験

語学(実技系・ドイツ語)

以下のドイツ語を日本語に訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

\*1 *Lieben Sie Brahms?* von Françoise Sagan (1961) 『ブラームスはお好き』(1959年)。フランスの作家フランソワーズ・サガンによる小説(原題: *Aimez-vous-Brahms?*)。1961年に『さよならをもう一度 *Goodbye Again*』というタイトルで映画化され、その際にブラームスの《交響曲第3番》第3楽章が使用された。

出典: Wolfgang Sandberger, "Bilder, Denkmäler, Konstruktionen – Johannes Brahms als Figur des kollektiven Gedächtnisses." In *Brahms Handbuch*, hrsg. von Wolfgang Sandberger (Stuttgart: Metzler/ Kassel: Bärenreiter, 2009), S. 2–3. (一部改変)

令和4年度（2022年度）

京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士（後期）課程入学試験問題

外国語（実技系・伊語）

1. 次の文章の下線部を日本語に訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

(Franco Brioschi e Costanzo Di Girolamo, *Manuale di letteratura italiana: storia per generi e problemi, dai Cinquecento alla metà del Settecento*, Torino, Bollati Boringhieri, 1994, p. 865.)

2. 次の文章全体を日本語に訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

(*Le Guide Mondadori, Roma*, Milano, Mondadori, 2003, p. 36.)

\* 1, 2とも、書誌情報は訳す必要はありません。